

まちかどトーク（木津地区）議事要旨

日時：令和7年11月7日（金）19:00～20:30

場所：木津地域交流センター

参加者：25人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「総合計画」についてチェンジ推進課より説明の後、質疑応答

参加者

木津地区は人口も住宅も増えて、活気づいている。道路（木津佐野線）も開通して便利になったが、街灯がほとんどなく、夜間は真っ暗で交通事故や防犯面が心配である。街灯の設置を要望する。

市長

街並みが暗いのは問題だと思う。暮らしを良くするためには、いろいろなところで税金を使う必要がある。建物を建てて豊かになるばかりでなく、足元の暮らしの改善をしたい。

参加者

「チェンジ」や「見直し」とは、具体的にはどういったことか。木津は地域で自分たちの住む街を良くしようと活動してきた。役員以外の住民からも意見を聴き、一番要望が多かった地域バス（ぐるりんバス）の運行に取り組んだ。運行に係る補助金がカットされると、良い方向に進んでいたことが元に戻ってしまう。

市長

補助金はもちろん継続したい。地域を循環するバスは必要と考えているが、一方で、路線バスがもう少し便利になるように変えなければならない。行政が一步前に出て市全体のバス網を強化したい。バスに乗って移動し、人と会って話すきっかけが増えるまちづくりを進めたい。将来のまちづくりを見据えると、バスの赤字路線に支援することも必要だと思っている。「チェンジ」で革命を起こし、今までの取組の良いところをなくすわけではなく、日々の生活をより良くしたい思いがある。

参加者

配付された高岡市人口ピラミッドの高齢化率は2025年9月で33.9%であるが、今後、高齢化がどのようにになると予測しているか。

チェンジ推進課

全体の傾向として、高齢化は進行している。

市長

高齢化の進行を今すぐ止めるのは難しい。高齢化を前提に行政を運営していかなければならない。高齢者の生活の質向上の観点からも、公共交通などに投資することが必要だと思う。

参加者

次期の総合計画（R9～）の目標とするテーマ（市の将来像）は「住みたいまち 高岡」だが、現行計画のテーマは。現行計画の評価をどう考えているのか。

チェンジ推進課

現行の将来像は「豊かな自然と歴史・文化につつまれ 人と人がつながる 市民創造都市 高岡」である。年末頃には評価の公表を予定している。中間評価・総括はこの冬に行い、次期の計画に繋げたいと思っている。

参加者

親元を離れたこども達が世帯を別にすることが多く、空き家が多い。空き家を更地にすると固定資産税も高くなるので、どうしていいかわからない人も多い。空き家の原因の実態調査や空き家対策の考えを知りたい。

市長

不動産市場に出せないけど住める空き家と、住まいに困っている高齢者や障がい者などを結びつける国の居住支援機構が行っている制度がある。先進地の福岡県大牟田市の元職員や国土交通省職員に来ていただき、市役所内で勉強会を行った。取り組み始めたばかりだが、色々なアプローチがある。行政が何かしないといけないが、難しいと思っている。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

人口減少に伴って、市の予算規模も小さくなるのか。

市長

人口は減っているが、予算は増えている。震災対応や市民病院にもお金がかかっている。将来世代のため、バランスよく行政運営をしないといけないと思っている。

参加者

予算が増えることに伴って、借金（市債）も増えているのか。

市長

借金（市債）をなるべく返すようにしており、残高は緩やかに減っている。毎年、市債を借りながらも返している状況。ただ、令和8年度予算の政策的経費は2年前に約88億円と言われていたが、直近見込みだと約140億円かかるので気を付けなければいけないと思っている。

参加者

高岡市には観光地が多くあるが、お土産物屋など観光客がお金を使う場所がない。

市長

観光客にお金を使ってもらう仕組みや移動手段は必要である。市で土産物屋を整備することは難しい。勝興寺周辺に開業するお店に補助金を出すなど、皆さんが潤う形にできればいいと思っている。

参加者

道の駅「雨晴」は規模が小さい。氷見の番屋街のような大きい施設があるといい。

参加者

瑞龍寺や金屋町、山町筋が繋がっておらず、回遊性がよくない。

市長

もう少し歩ける街だったら、お金を使うことがあると思う。街中や勝興寺にグリーンスローモビリティや射水市の内川で運行している「べいぐるん」のような小型のモビリティを導入できたらいいなと思っている。

参加者

万葉線を金屋町や高岡商業高校まで伸ばすと、学生や観光客も利用し、駅前の放置自転車も減る。費用がかかるなら、人が集まらないイベントを止めてはどうか。予算に優先順位を付けて欲しい。

市長

何かしら見直すべきものは見直さなければいけないと思っている。

参加者

地域バスの運行に取り組んだ時は、「木津みらい会議」を開いた。自治会の役員だけで進めると、出てくる答えは大体いつも同じになる。役員は高齢者が多く、若い人や女性の意見は聴けない。日頃、意見を聴けない人の声を聴くために会議をして、多くの人に集ってもらい、多くの意見をいただいた。

参加者

若い人を積極的に地域行事や会合に引き寄せる先進事例があれば教えて欲しい。木津以外から来た人の中には町内会費を払わない人や町内会を抜きたい人もいるので、若い人を引き込む方法を教えて欲しい。

市長

私も二百何十回と集会を開いたが、若い人はほとんど参加されない。

行政が本気になって、皆さんと一緒に街を変えていく姿勢を出さなければいけない。木津は人口構成が良いが、課題はたくさんある。小さいチェンジを積み重ねて、持続できる街になっていけばいいと思っている。